

## 成果2 パイロット活動 生物多様性モニタリングの紹介

中米・カリブ地域の8カ国を対象とする本プロジェクトでは、住民が、国境を越えて広がる生物資源を「地域として保全すべき財産」として認識することを重視しています。国境をも跨ぐ広い生物多様性保全には、ここの住民の全体が、生物資源を認識、かつ、他の多くの住民と共有しているという意識の醸成が必要です。このため、プロジェクトでは、携帯電話やパソコンで使用でき、操作が簡単な無料生態系モニタリングアプリケーションである iNaturalist を用い、フォンセカ湾(エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグアと面している)とモンテ・クリスティ(ドミニカ共和国)でモニタリングを行うことにしました。

フォンセカ湾岸の住民は、陸地生態系に加え、マングローブや魚や貝など海洋生態系の生物資源も広く共有し暮らしています。モニタリングに参加することで、これら生態系が国境を越えて広く存在し、これらを他の集落や国の住民と共有していることを認識してもらえると考えています。生物多様性モニタリングの定着には、住民の興味を維持する必要があります。このため、村落間でモニタリング結果(観察数や観察された生物種の数)を共有・比較し、競争を促し、ひいては興味を維持する試みを予定しています。

モンテ・クリスティの対象村落の一部は国の野生生物保護区内に位置し、住民は保護区内で農業、漁業、畜産業を営んでいます。しかし、住民は自分たちが保護区内で活動をしているという意識が乏しいです。モニタリングに参加することで、保護区内に生息する生物の多様性や貴重性、そして自分たちが保護区内にいるという認識を高めていきます。



携帯電話やパソコンを用いて観察した生物の記録をとることができる無料のアプリケーション iNaturalist のイメージ



iNaturalist を用いて暫定的に作成した本プロジェクトの生物多様性モニタリング情報(観察された生物の種類、位置、時間などがわかる、村落間で情報の比較ができる)



本プロジェクトで作成した iNaturalist 利用方法に関するチュートリアル動画の一部